

# ななかま

五輪旗の しまわれており 秋の風  
どんぐりを 踏みしめてゆく 子らの道

艱難汝を玉にす (かんなんなんじをたまにす)  
「負けて泣くより勝って泣け」の前者は悔し涙、後者はうれし涙ですね。ダイヤモンドになる人は、苦しい宿題にも音をあげません。

## 才能の芽はいま育っている

今回の漢字検定では親子で挑戦し見事合格されたご家族がありました。そのお母さんの意気込みに頭が下がります。その効果は数年先に大きく現れるでしょう。

学びは、心を開いたときにはじまることを思うと、学びには楽しさと充実感が必要なことが分かります。お母(父)さんとともに学ぶ楽しさから始まり、ある段階に達すると自ら学ぶようになります。その動機づけとして親が模範を示す、または親も楽しむ姿を示すことは大層効果があると思われま

す。ほめることで、子の心は開かれます。

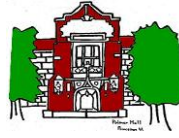
## 「十人十色」(その5)

この頃、葛飾北斎のことを書いた本がよく売れているようですが、世界に影響を与えた100人(『ライフ』1998)に、日本人として唯一名前が挙げられたことが影響しているのでしょうか。北斎は江戸後期の画家として『富嶽三十六景』(神奈川沖浪裏の図が有名)の錦絵(版画)などを世に送り出しましたが、その後フランスの印象派画壇に大きな影響を与えたことでも有名です。しかし天才画家北斎は、生まれたときから天才であったわけではありません。もちろん幼少の頃から秀でた画才を持っており十代で絵の道に入って頭角を現したようです。そして努力を貫いて当時としては大変な長寿の90歳の最期まで製作に情熱を注ぎました。彼の際立った作品ができあがる背景には、多くのライバル(歌川広重など)との競争がありました。個性的で秀でた作品が生み出されるには、その競争が無視できません。

ルネサンスを代表する天才レオナルド=ダ=ビンチは『モナ・リザ』など多くの作品を残しました。建築や絵画の才能を多く必要としたその時代に、後世にも残る芸術作品を次々に創作した背景には、ミケランジェロやラファエロなどの優れた才能との厳しい競争があったといわれています。

天才は競争から生まれる。切磋琢磨(せつさたくま)という言葉がありますが、よい意味で競争のある人間関係の中でこそ、天才は育つのだなあと思ったのです。

## プリンスン日本語学校(補習校部)



平成24年度 No.14号

平成24年 8月26日

文責 長尾重範

## 行事予定表

9月の第1週の授業日は1日(土曜日)です。

JASLは9月9日が入学式です。

9月30日前期授業終了(通知表を受け取る日)

10月28日漢字検定

## 「百聞は一見に如(し)かず」(7)

Seeing is believing

「アメリカを代表する自然は？」

アメリカを代表する観光地はどこでしょうか。ナイアガラ滝、それともグランドキャニオンでしょうか。人それぞれにアメリカの印象は異なっているでしょうが、日本にはなくてアメリカにあるものといえば、大平原(プレーリー、グレートプレーンズなど)もそうですし、ロッキー山脈もその規模の大きさで圧倒されます。行ったことはないのですが北極圏アラスカの自然も日本にはないものでしょう。ハワイのキラウエア火山、バリンジャー隕石クレーター、化石の出る砂漠地帯など見るべきものはたくさんあります。

ナイアガラ滝は、澄んだ水が滝つぼに落ちるスケールの大きさが見所です。水はエリー湖から流れ落ちてオンタリオ湖に向かいます。グランドキャニオンは平らな部分と切れ込んだ深い谷のコントラストでは際立って美しい景観を誇っています。コロラド川の浸食によって作られた見事な造形美です。

皆さんのなかには、これぞアメリカだと推薦したい風景をお持ちの方が多いと思います。緯度といえば北極圏から熱帯にまで及ぶのですから、アメリカは広くて多様性を持っているのは当然だとも言えそうです。アメリカの自然は、日本のようにコンパクトではありませんので魅力のスポットを短期日に駆け足で回することはできません。しかし逆に、時間をかけてじっくりと楽しむような、その広大さ、スケールの大きさにその魅力があるように思います。その立体的な把握こそ、アメリカの自然を楽しむ醍醐味ではないかと思っています。

日本でいくら話を聞いてもアメリカのスケールの大きさを理解することは難しいでしょう。実際に足を運んで初めて本当に「百聞は一見に如かず」を実感できるように思います。